
これ何だろう？

海記 龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

これ何だろう？

【Nコード】

N6797U

【作者名】

海記 龍

【あらすじ】

さあ何でしょう？

自分のブログから転載。

「ありがとう…。」

彼女は涙を流しながら笑った。そんな痛々しい姿に、彼は戸惑い、俯く。

「そんな…、俺が…。」

「そんな顔しないで。俯かないで。ちゃんと前を見て———。」
「ダメだよ!!」

普段の穏やかな顔からは想像もできないような大声。これには今までしゃべっていた彼女も驚く。

「俺がちゃんとあの時動いていれば…っ！　こんなことには…！」

「違う、あなたのせいではないわ。すべては私、私の責任…。」

「それこそ違う!!　俺のせいで君が…っ、こんな傷を…。」

「そういえば、私の尊敬している偉人が、こんなことを言っていたの。」

『人の生死は神明に任せておけばよいのだ』と。

こんなことだって神がお決めたこと。人間の行動一つで変えられるものではない。あなたのせいじゃないの…。」

「…!!　菊!?　菊!!　菊っ!!」

…許せない…。許せないよ!!　そんな神様、俺が殺してやる!」

「はいカーット！　OKなんだぞ！」

……あれ？

「ありがとう、イタリアと日本！　それにみんな！　お疲れ様！
いいのが撮れたよ！　はい、お礼のハンバーガーにコーラさ！」

「わーい！　日本もどう？」

「いえ、私は……。」

……あれ？

「あ、ナレーションの方が分かっていないようですよ。」

「すみません……何せ新人なもので……。あ、先輩！」

「後輩、今な、これやってるんだ。で、今はゴニョゴニョ……。」

「……あ、はい。分かりました。ありがとうございます。」

「よし、あとは頑張れ。」

「……すみませーん、続けてください。」

「あ……はい。で、アメリカさん。なぜ突然こんなことを？」

「韓国に頼まれたのさ！　『日本の家で、またこんなドラマを流行
らせたんだぜ！　利益は全部俺の物なんだぜ！』ってね！」

「アメリカさんには何の得もありませんが……。」

「俺は監督の役ができるからいいのさ！　俺はHERO☆だからね」

！
」

「はあ…。」

そして、クランクアップ（撮影終了…だったような…。）後のパーティー…いや大宴会。

「さあ！ パーッと盛り上がるあるう！ でも代金は自腹ある、よく考えるよろし！」

中国さんはここでも商売しているらしい。

「えーっ、俺そんなに金持ってきてないよ！ 普通、監督には金を払うものじゃないかい？」

「いやそれは逆あるよ！ 普通は頑張った役者やスタッフたちに金を払うもんある！」

「……俺はHEROだからね！」

「意味分かんねーある！」

ギアアギアと口げんかを続ける2人。

それを横目に、日本達枢軸は会話を楽しんでいた。

「う…うん、2人ともよく頑張ったな…。」

「いえ、そんな…。」

「そうだよドイツ！ ドイツだって、カメラで俺達撮るの頑張ってたじゃん！」

「いや、お前達よりは…。」

「それにしても、イタリア君、すごい演技力でしたね。」

「日本だってうまかったよ、女の子の役々！」

「はっ！！ そうです！ アメリカさん！」

「？ 何だい？」

「なんで私が女性の役だったんですか！？ 私、こう見えても爺な
んですよ！？ 中国さんだっというじゃないですか！」

「！？ 何いってるあるか日本！」

「この8人の中で一番女みたいなの日本じゃないか！」

「うゝそれは相当ショックですよアメリカさん…。」

「H A H A H A！」

ちゃんちゃん♪

(後書き)

ふー。久しぶりの投稿だぜー…。ほんとなんだろうこれ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6797u/>

これ何だろう？

2011年10月8日14時40分発行